

「秋田市一般廃棄物処理基本計画」(素案)に対する意見と市の考え方

- 1 期間 令和7年12月19日(金)から令和8年1月19日(月)まで
- 2 件数 2名7件(内訳:市民100人会2名)

第1章 計画策定の趣旨

No	意見	意見に対する市の考え方
1	P 3 ・温暖化や災害、人口減少の様々な影響で新しい物を作って行く事も大変になっていくと思うので今ある物も大切に使っていきたい。	・ご指摘のとおり、廃棄物の発生を抑制し、天然資源の消費と環境負荷を最小限に抑えながら、資源を循環させる持続可能な社会(循環型社会)の実現を目指してまいります。

第3章 ごみ処理基本計画

No	意見	意見に対する市の考え方
2	P 2 8 ・ゴミ袋は高いなと思ってしまうので値段が下がらないにしても2枚でも1枚でも多く入っていると助かる。	・現在、ゴミ袋価格の値下げに向け、家庭ごみ処理手数料の引下げを検討しており、現状の有料化制度による経済的動機付けを維持しながら、物価高騰等の社会経済情勢の変化に伴う市民負担の軽減を図ってまいります。
3	P 4 0 ・食品ロスをなくす為、いろいろなスーパーで工夫をしてくださっている。賞味期限の短い食品や生物の魚、肉、野菜等割引や半額にしてくれているので、買いやすく助かる。賞味期限の間近な食品のつめ放題や同じ値段で数が多いと嬉しい。手前取りや買った材料を食べ切ったり冷凍したり食材を少しでも無駄にしないよう心がけたい。	・食品ロスの削減は、ごみ減量につながることから、事業者に対しても、ご指摘のような取組が進むよう啓発指導を行ってまいります。
4	P 4 0 ・時々、フリーマーケットに参加している。家にあり使っていない物を喜んで買ってください方もいて、また着物をリメイクしてバックや小物を作っている方もいて良いと思う。私も母のタンスの小さい引き出しの所を三段と、二段の引き出しを作ってもらったことがある。	・市内では民間のリユースショップによる製品の再使用の取組が進んでおり、こうした取組は、資源の有効活用として重要であると捉えており、周知に努めてまいります。 ・ご紹介いただいたアップサイクルの取組も、リサイクルの新たな視点として、取組が進んでおり、先進的な取組の情報収集に努めてまいります。
5	P 4 0 ・缶、ビン、紙、ダンボール、ペットボトル、金属類と町内でもきちんとゴミが分別されていて、いつも良いと思う。生ゴミに関してですがゴミ置き場まで投げに行ける方は良いと思うのですが、重いため、足腰が痛くて動けない方がいたら、月に何回かでも電話をすれば生ゴミを回収してもらえる等の方法があれば良い。	・福祉的な側面からの生ごみの戸別収集については、収集運搬費用の増大が課題であり、今後研究してまいります。

6	<p>P 4 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成14年から導入した溶融炉で熱回収を行い発電している。令和17年を予定する新施設稼働においては、発電設備も整備して熱回収率の増加とリパワリングによる発電量の増加を両立し、再資源化のさらなる推進を展開していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新施設の整備に当たっては、発生する熱エネルギーを回収し、発電などのエネルギーの有効活用が進むよう努めてまいります。
7	<p>P 4 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境省が令和7年4月にリチウム蓄電池等の適正処理に関して通知を出している。市民は、膨張・変形したリチウムイオン二次電池の処分・回収システムがないことに困っている。誰もがモバイル製品を持っており、リチウムリチウムイオン二次電池を所有している現状から逃避することなく向き合う姿勢が求められている。膨張・変形したリチウムリチウムイオン二次電池の処分・回収システムの確立をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> リチウムイオン二次電池については、膨張し・変形し一般廃棄物となった場合は、適正に処理を行っており、その回収方法の周知に努めてまいります。 また、製品そのものに由来する火災等のリスクの公平な負担という視点から、製造者責任の拡大などを国に働きかけるなど、住民が廃棄する際に戸惑うことがないよう意を用いてまいります。